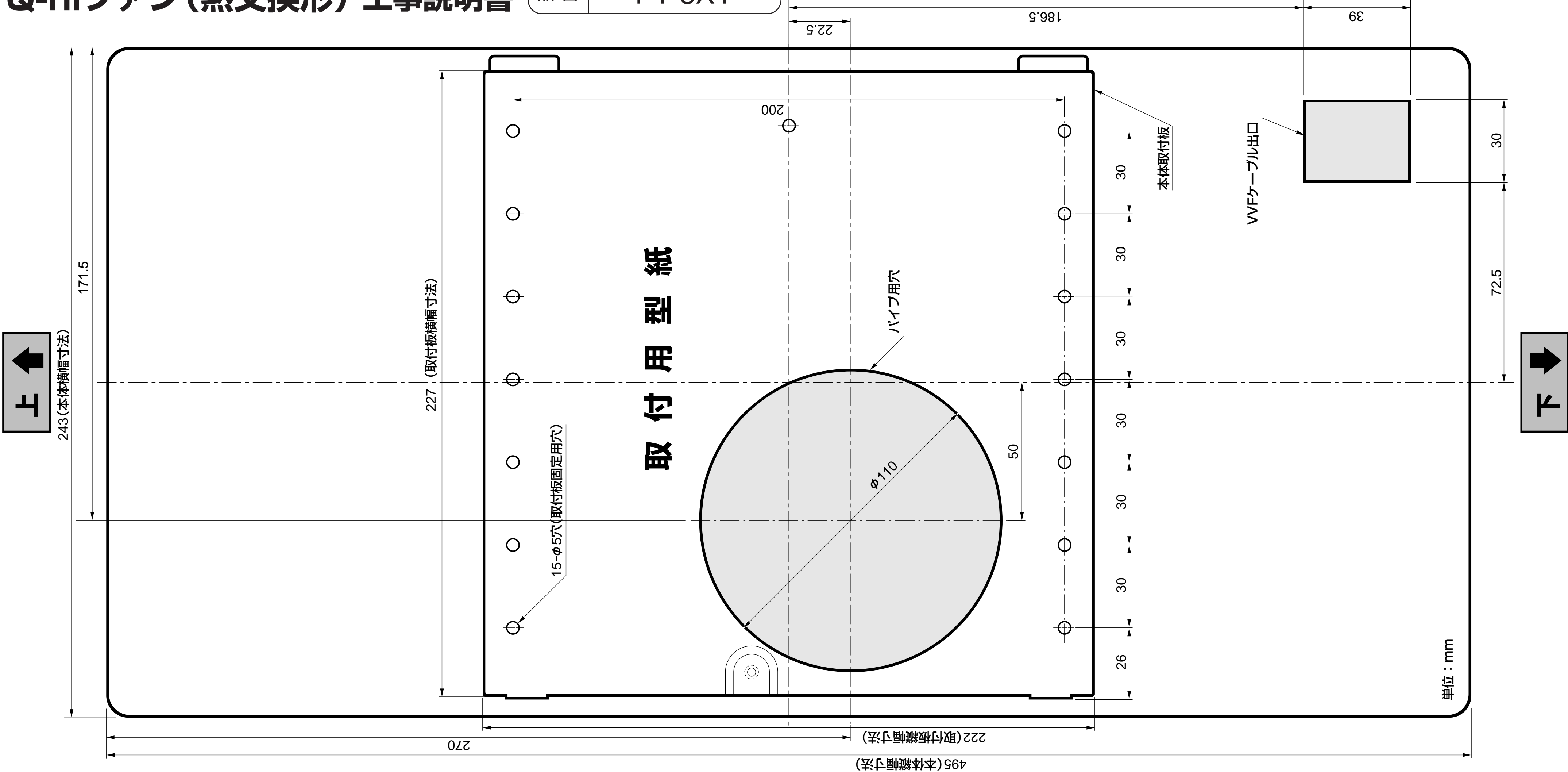


用途	居室用	高所取付用	常時換気タイプ
品番	FY-8XY		



**安全上のご注意 必ずお守りください**

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(下記は、給表示の一例です。)

- 警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
- 注意** 「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。
- 禁止 (No) してはいけない内容です。
- 実行禁止 (No with slash) 実行しなければならない内容です。

**警告**

■交流100ボルト以外で  
使用しない  
火災・感電の原因と  
なります。

■仕様変更・改造は絶対に  
しない  
火災・感電・けがの  
原因となります。

**注意**

■本体は、十分強度の  
あるところをしっかり  
取り付け、強度不  
足の場合には補強す  
る

■天井には取り付け  
ない  
落下により、  
けがをする  
おそれがあり  
ます。

■浴室など、湿気の多  
いところに取り付け  
ない  
感電や故障の  
原因となりま  
す。

■パイプは工事説明書  
に従って確実に取り  
付ける  
結露水の発生  
や雨水の浸入  
で感電、火災  
や家財などを  
濡らす原因と  
なります。

■部品は確実に取り  
付ける  
落下により、  
けがをする  
おそれがあり  
ます。

■配線工事は、電気設  
備技術基準や内線規  
程に従って、確実に  
おこなう  
誤った配線工  
事は、漏電、  
感電や火災の  
おそれがあり  
ます。

■本体と取付板は隙間  
が発生しないように  
密着させて取り付  
ける  
結露水が発生  
して家財など  
を濡らす原因  
となります。

■本体は指定の方法で  
確実に取り付ける  
落下により、  
けがをする  
おそれがあり  
ます。

**お願い**

■高温(40℃以上)になる場  
所には取り付けないで  
ください。  
製品の変形やモーターの寿命を縮  
める原因となります。

■図のような取付場所を確  
保してください。  
シャッターレバーの操作に必要な  
寸法です。

■パイプ取り付けをおこな  
う際、必ず屋外側に勾配  
をとってください。  
勾配をとらないと、雨水が室内  
側に流れます。

■パイプフードと壁とのす  
き間がないようにコーキ  
ングしてください。  
雨水浸入の原因となります。

■台所など油煙の発生する場所  
や有機溶剤のかかる場所には  
取り付けないでください。  
ルーバーなどの破損の原因となり  
ます。

■寒冷地(最低気温-10℃  
以下)には取り付けないで  
ください。  
結露の原因となります。

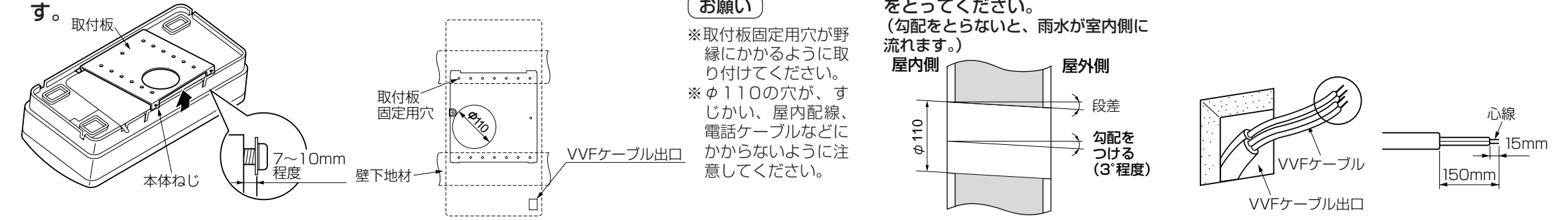
■パイプ取り付けをおこな  
う際、必ず屋外側に勾配  
をとってください。  
勾配をとらないと、雨水が室内  
側に流れます。

■パイプフードと壁とのす  
き間がないようにコーキ  
ングしてください。  
雨水浸入の原因となります。

**施工方法 以下の手順にしたがって施工してください。**

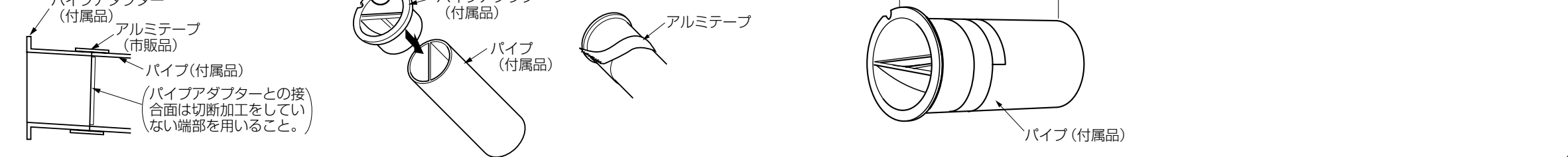
**1 取り付け前の準備**

- ①本体ねじ(2個)を7~10mm程度ゆるめて、取付板をはずす。
- ②取付用型紙を利用して壁に給排気穴(φ110)とVVFケーブルの引き出し穴を開ける。
- ③VVFケーブル(φ1.6)を引き出し、先端を加工する。



**2 本体の取り付け**

- ④パイプアダプターをパイプに取り付け、アルミテープで固定する。(冷気の浸入による結露防止のため)
- ⑤パイプを壁厚+10~15mmに切断する。



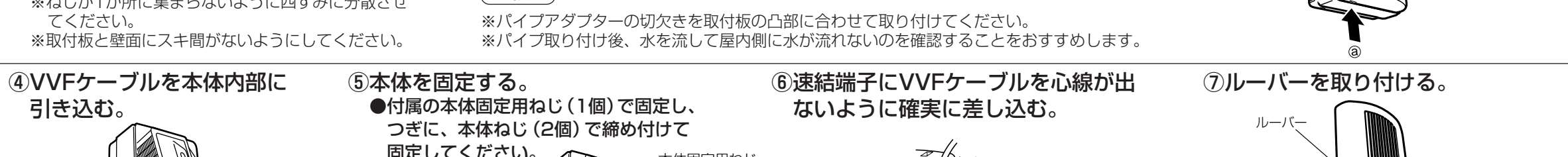
**3 パイプフードの取り付け**

- ⑥速結端子にVVFケーブルを心線が出ないように確実に差し込む。
- ⑦ルーバーを取り付ける。

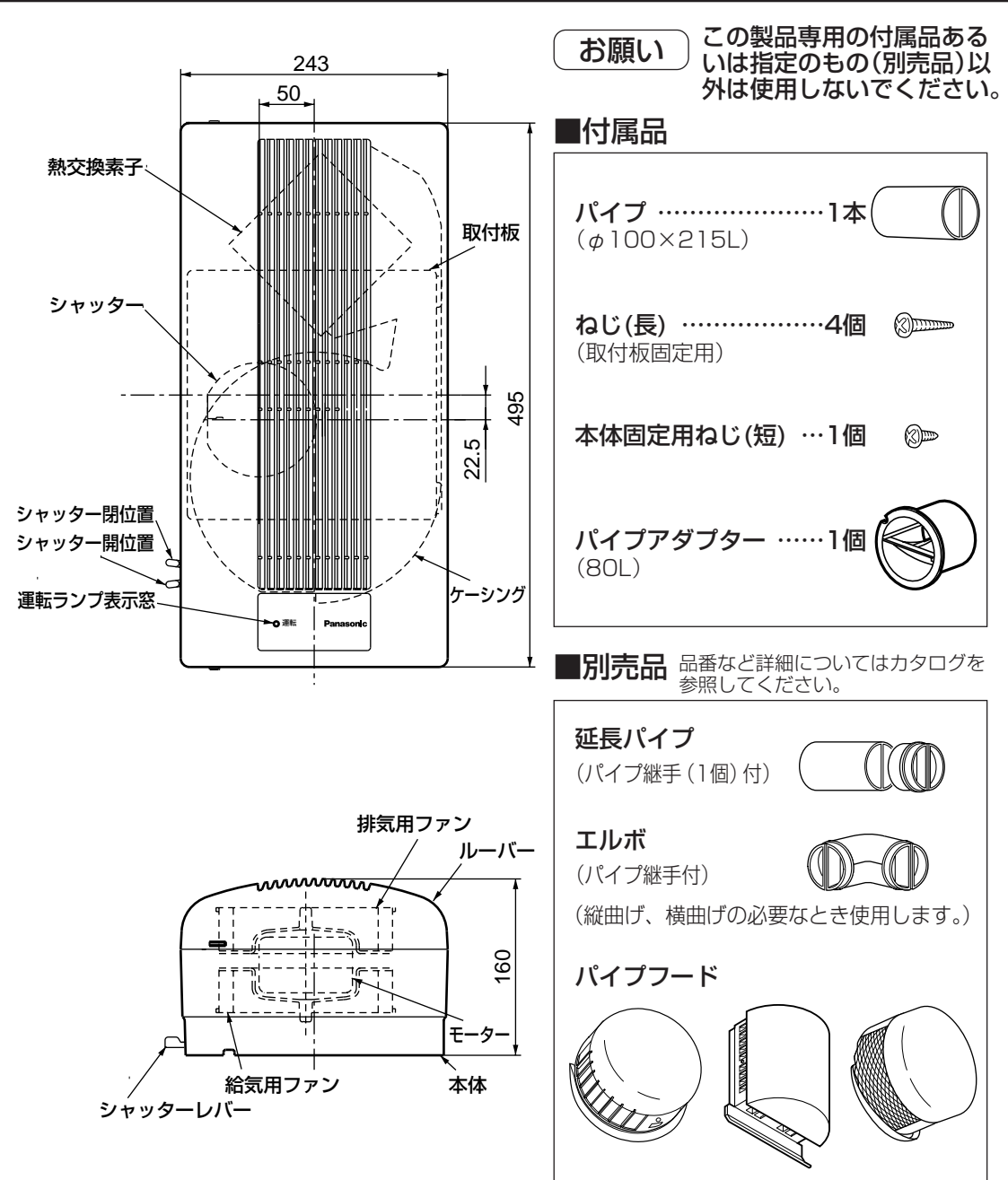


**4 試運転**

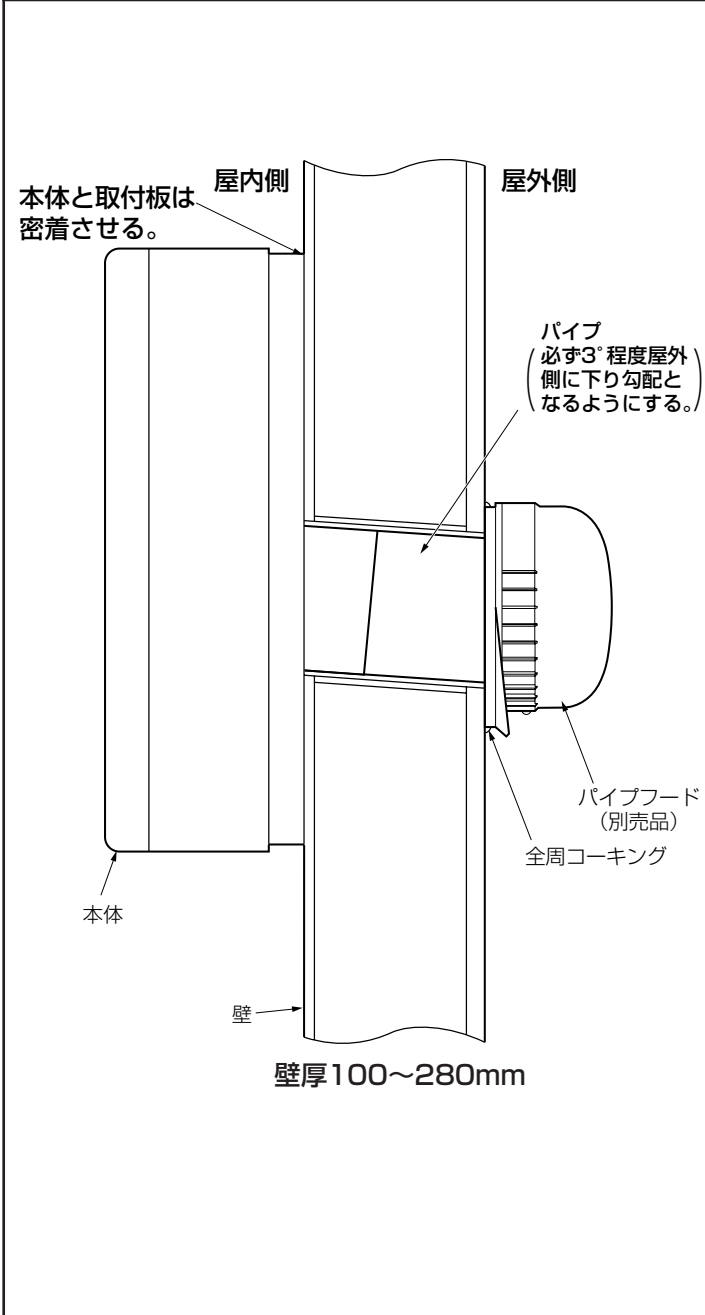
- ⑧電源スイッチを操作する。
- ⑨シャッターレバーを操作する。



**各部の名前と寸法**



**取り付け参考図**



**3 パイプフードの取り付け**

●パイプフードの工事説明書をご参照ください。

**4 試運転**

- スイッチの操作
- シャッターレバーの操作

